

令和4年度

決算・業務実績の概要

目 次

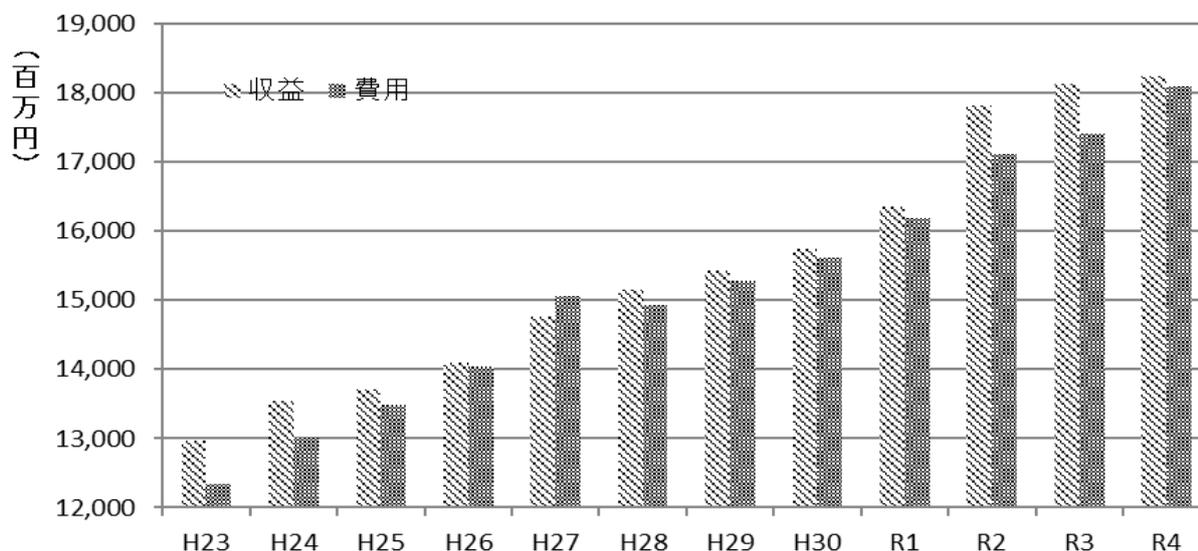
1. 総合医療センターの決算見込み（損益計算書ベース）について	1
2. こころの医療センターの決算見込み（損益計算書ベース）について	5
3. 山口県立病院機構の決算見込み（損益計算書ベース）について	9
4. 令和4年度収支実績の前年度対比	13
5. 令和4年度収支計画と収支実績の対比	15
6. 令和4年度業務実績及び第3期中期目標期間評価.....	17

総合医療センターの決算見込み（損益計算書ベース）について

1 令和4年度決算の概況（本部費配賦額込）	
決算規模	[収益] 182億4,900万円（対前年度比+0.7% +1億2,800万円） [費用] 181億100万円（対前年度比+3.9% +6億8,300万円）
収益の状況	○ 医業収益は、入院診療収益の増等により増加 ○ 補助金は、新型コロナ補助金の減により減少
費用の状況	○ 医業費用は、給与費や経費の増等により増加 ○ 控除対象外消費税は、経費の増等により増加
経常利益	○ 1億7,400万円の黒字（5年連続）
純利益	○ 1億4,800万円の黒字（7年連続）
総利益	○ 2億1,900万円の黒字（7年連続） ※目的積立金取崩額7,100万円を含む

2 決算規模・決算収支
○ 決算規模は、収益182億4,900万円、費用181億100万円となり、収益・費用とも前年度決算額より増加。独法化以降、いずれも増加傾向
○ 経常利益は5年連続の黒字、純利益は7年連続の黒字

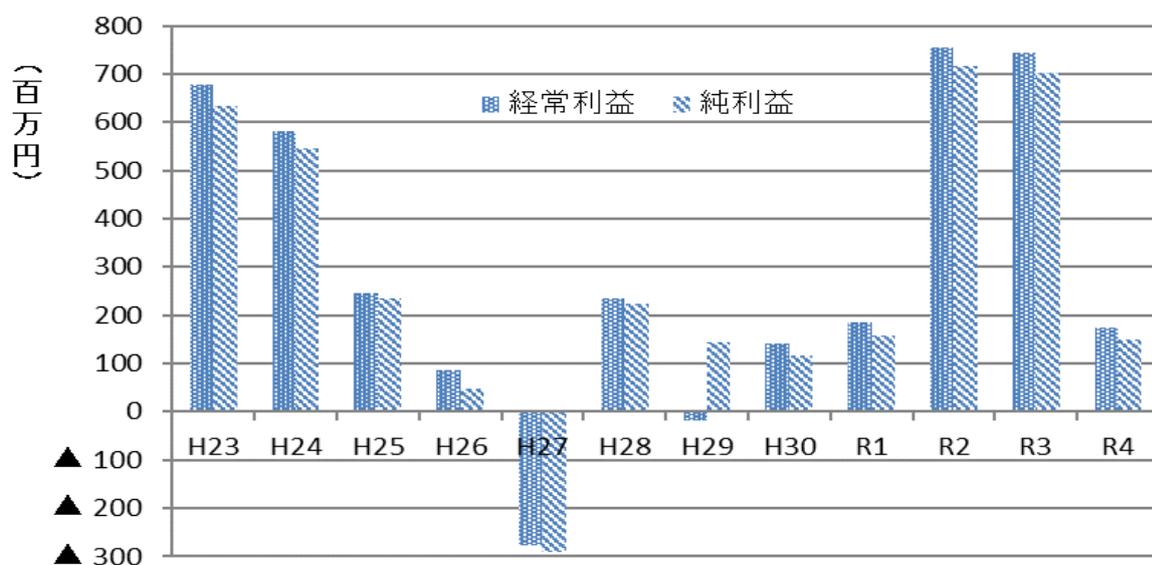
(1) 決算規模の推移



(単位: 百万円、%)

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
収益	12,970	13,547	13,716	14,094	14,771	15,153	15,434	15,737	16,347	17,822	18,121	18,249
前年度比	-	4.4	1.2	2.8	4.8	2.6	1.9	2.0	3.9	9.0	1.7	0.7
費用	12,335	13,002	13,482	14,046	15,062	14,929	15,291	15,622	16,190	17,107	17,418	18,101
前年度比	-	5.4	3.7	4.2	7.2	▲0.9	2.4	2.2	3.6	5.7	1.8	3.9

(2) 決算収支（経常利益・純利益）の推移



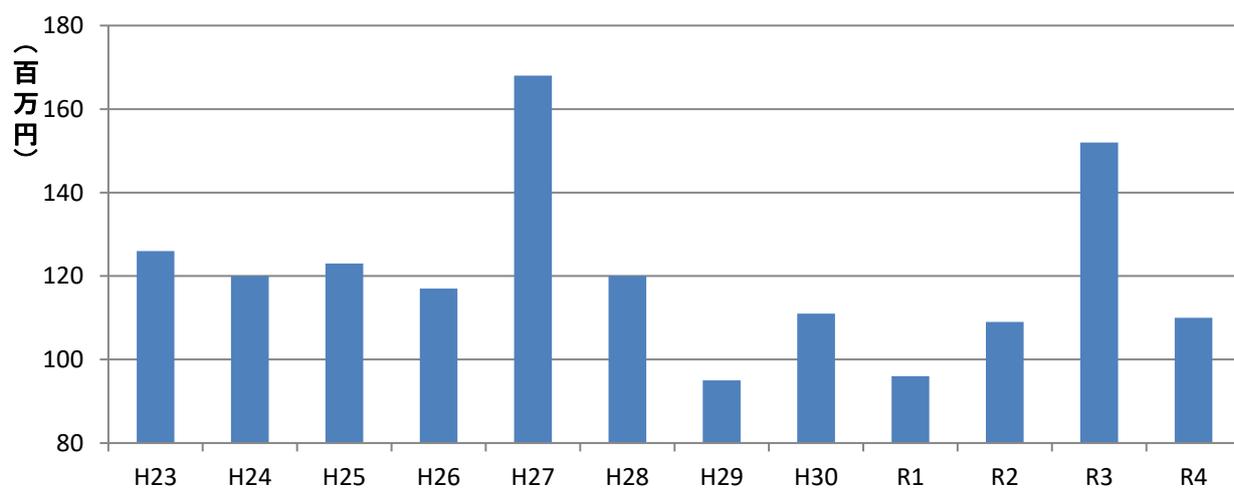
※平成27年度の経常利益、純利益の赤字は、市場金利の低下により将来の退職金給付による費用を計上したため

(単位 百万円)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
経常利益	678	581	245	87	▲278	234	▲20	140	184	754	745	174
純利益	635	545	234	48	▲291	224	143	115	157	715	703	148

3 本部費配賦額

○ 本部費配賦額は、本部事務局の給与費の減等により、前年度比▲27.6% (▲4,200万円)



(単位 百万円)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
本部費配賦額	126	120	123	117	168	120	95	111	96	109	152	110
前年度比	-	▲4.8	2.5	▲4.9	43.6	▲28.6	▲20.8	16.8	▲13.5	13.5	39.4	▲27.6

4 収益

- 医業収益は、診療単価の増等により、前年度比+5.9% (+8億5,900万円)
 - ・入院診療収益は、効率的なベッドコントロールを行うとともに、重症患者の受け入れやICU稼働率向上の取り組みに加え、地域包括ケア病棟（回復期）から一般病棟（急性期）への病床機能転換を図ったこと等により前年度比+7.9% (+8億1,500万円)

診療単価 R3：74,507円→R4:81,001円 (+6,494円)
 - ・外来診療収益は、患者数（透析患者など）の増等により前年度比+2.5% (+9,700万円)
- 補助金は、新型コロナ患者受け入れの増加に伴う、病床確保料の減等に伴い減少。前年度比▲36.4% (▲6億8,300万円)

(単位 百万円、%)

区 分	R4	R3	比 較	
			増減額	増減率
営業収益	18,171	18,053	118	0.7
うち医業収益	15,399	14,540	859	5.9
うち入院診療収益	11,161	10,346	815	7.9
うち外来診療収益	4,007	3,910	97	2.5
うち運営費負担金	1,323	1,384	▲61	▲4.4
うち補助金収益	1,194	1,877	▲683	▲36.4
営業外収益	77	68	9	13.2
うち運営費負担金	5	6	▲1	▲16.7
臨時利益	1	0	1	-
総 収 益	18,249	18,121	128	0.7
目的積立金取崩額	71	0	71	-
合 計	18,320	18,121	199	1.1
運営費負担金合計	1,328	1,390	▲62	▲4.5

(注) 表示単位未満を四捨五入しているため、各計の数値が、表内計算数値と一致しない場合がある。(以下同じ)

(単位 百万円)

区 分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
営業収益	12,851	13,434	13,578	13,994	14,651	15,044	15,164	15,594	16,256	17,754	18,053	18,171
うち医業収益	11,146	11,838	12,243	12,599	13,265	13,647	13,848	14,265	14,936	14,619	14,540	15,399
うち入院診療収益	8,308	8,917	9,398	9,602	10,020	10,148	10,332	10,623	11,020	10,783	10,346	11,161
うち外来診療収益	2,550	2,676	2,607	2,760	2,985	3,220	3,233	3,369	3,648	3,607	3,910	4,007
うち運営費負担金	1,539	1,422	1,153	1,161	1,156	1,155	1,082	1,085	1,092	1,202	1,384	1,323
うち補助金	99	90	75	103	69	64	64	72	76	1,767	1,877	1,194
営業外収益	117	113	139	100	120	109	100	143	91	68	68	77
うち運営費負担金	37	32	26	23	21	14	12	10	8	7	6	5
臨時利益	2	0	0	0	0	0	170	0	0	0	0	1
総 収 益	12,970	13,547	13,716	14,094	14,771	15,153	15,434	15,737	16,347	17,822	18,121	18,249
目的積立金取崩額												71
合 計	12,970	13,547	13,716	14,094	14,771	15,153	15,434	15,737	16,347	17,822	18,121	18,320
運営費負担金合計	1,576	1,454	1,179	1,184	1,177	1,169	1,094	1,095	1,100	1,209	1,390	1,328

5 目的積立金取崩額について

(単位 百万円、%)

区	分	金額 (収支ベース)
I	医療従事者等確保積立金	17
	①現医療従事者等の処遇向上	10
	医師のインセンティブ制度	2
	看護師の処遇向上(夜勤協力手当等)	8
	②医師の確保(てんかん支援拠点病院運営等)	1
	③看護師の確保(修学資金)	0
	④薬剤師の確保(山口東京理科大との連携)	6
II	施設・設備整備等積立金	54
	①機器等整備費(勤怠管理システム導入等)	4
	②設置等工事費(なかよし保育園修繕等)	50
	合計	71

6 費用

- 医業費用は、給与費や経費の増等により、前年度比+4.3% (+7億400万円)
 - ・給与費は、機能強化に向けた体制整備を図ったことにより増加
 - ・材料費は、新型コロナウイルス感染防止に向けた医薬品費等の増により増加
 - ・経費は、水道光熱費の増等により増加
 - ・減価償却費は、ICUや手術室改修における建物減価償却費の減により減少
- 控除対象外消費税は、経費の増等により前年度比+4.8% (+3,600万円)

(単位 百万円、%)

区	分	R4	R3	比較	
				増減額	増減率
営業費用		18,063	17,365	698	4.0
	医業費用	17,165	16,461	704	4.3
	うち給与費	8,663	8,284	379	4.6
	うち材料費	4,754	4,518	236	5.2
	うち経費	2,476	2,289	187	8.2
	うち減価償却費	1,218	1,338	▲120	▲9.0
	うちその他医業費用	54	33	21	63.6
	本部配賦額	110	152	▲42	▲27.6
	控除対象外消費税等	788	752	36	4.8
営業外費用		12	11	1	9.1
臨時損失		26	42	▲16	▲38.1
総費用		18,101	17,418	683	3.9

(単位 百万円)

区	分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
営業費用		12,226	12,910	13,425	13,966	15,007	14,894	15,259	15,531	16,149	17,054	17,365	18,063
	医業費用	11,777	12,490	13,007	13,298	14,350	14,272	14,651	14,827	15,397	16,099	16,461	17,165
	うち給与費	6,079	6,201	6,388	6,743	7,420	7,179	7,506	7,587	7,622	8,194	8,284	8,663
	うち材料費	3,244	3,400	3,617	3,591	3,790	3,941	4,078	4,217	4,511	4,460	4,518	4,754
	うち経費	1,584	1,802	1,909	1,936	1,979	1,956	2,031	1,984	2,088	2,249	2,289	2,476
	うち減価償却費	838	1,048	1,043	973	1,108	1,149	986	987	1,126	1,169	1,338	1,218
	うちその他医業費用	33	40	51	54	53	48	49	53	49	26	33	54
	本部配賦額	126	120	123	117	168	120	95	111	96	109	152	110
	控除対象外消費税等	323	300	295	552	489	502	514	593	656	847	752	788
営業外費用		64	56	46	41	45	24	20	66	14	14	11	12
臨時損失		45	36	11	39	10	10	12	25	27	40	42	26
総費用		12,335	13,002	13,482	14,046	15,062	14,929	15,291	15,622	16,190	17,107	17,418	18,101

こころの医療センターの決算見込み（損益計算書ベース）について

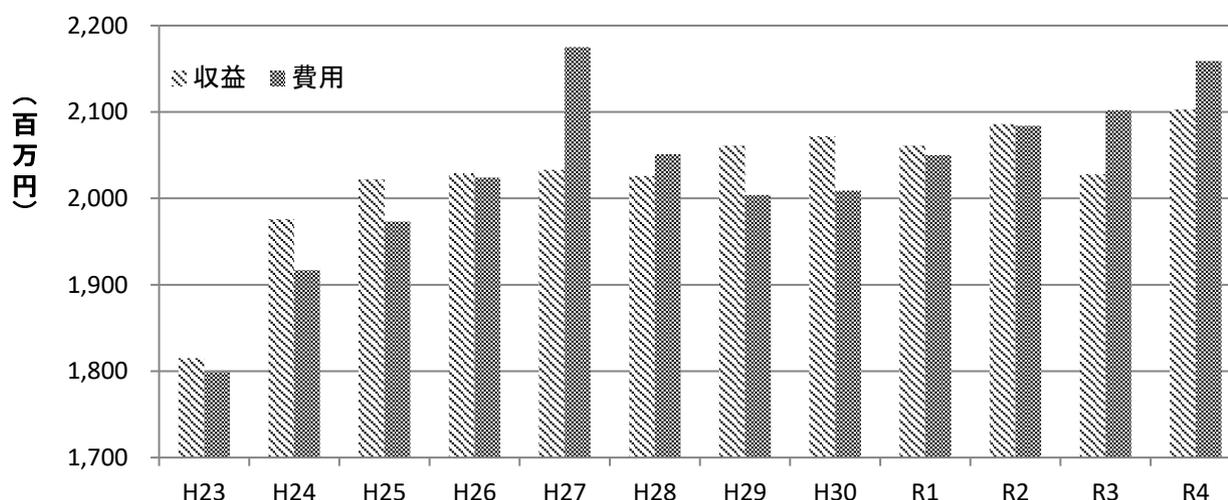
1 令和4年度決算の概況（本部費配賦額込）

決算規模	[収益] 21億 300万円（対前年度比 +3.7% +7,500万円） [費用] 21億5,900万円（対前年度比 +2.7% +5,700万円）
収益の状況	○ 医業収益は、入院診療収益の増により増加 ○ 補助金は、新型コロナ補助金の減により減少
費用の状況	○ 医業費用は、給与費や経費の増等により増加
経常利益	○ ▲5,600万円の赤字（2年連続）
純利益	○ ▲5,600万円の赤字（2年連続）
総利益	○ ▲5,300万円の赤字（2年連続）※目的積立金取崩額300万円を含む

2 決算規模・決算収支

- 決算規模は、収益21億300万円、費用21億5,900万円となり、収益は増加したが、費用も前年度決算額より増加
- 平成29年度以降、4年連続で黒字を維持していたが、令和3年度以降は経常利益、純利益とも赤字

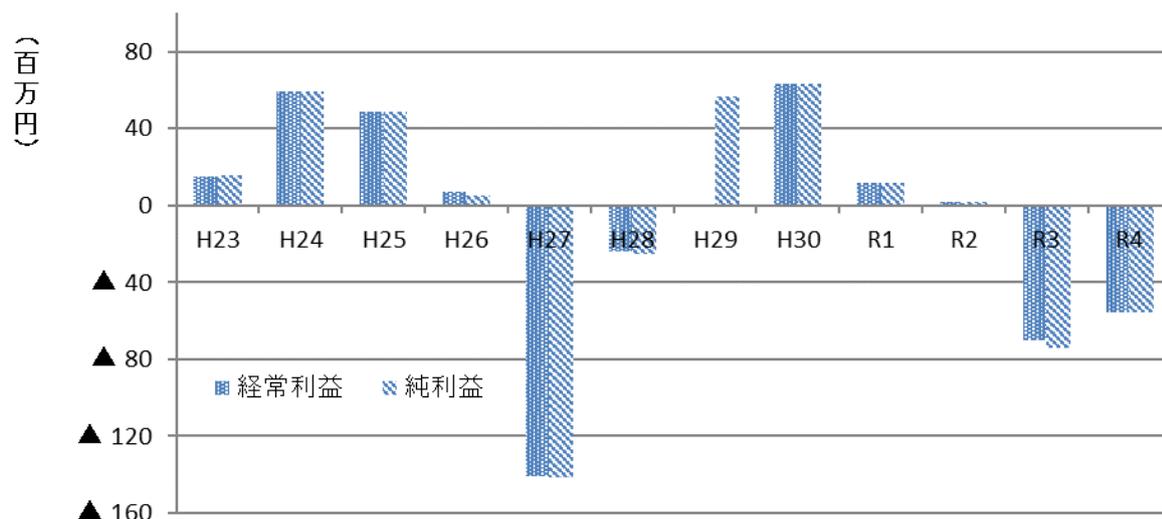
(1) 決算規模の推移



(単位 百万円、%)

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
収益	1,815	1,976	2,022	2,029	2,033	2,026	2,061	2,072	2,061	2,086	2,028	2,103
前年度比	-	8.9	2.3	0.3	0.2	▲0.3	1.7	0.5	▲0.5	1.2	▲2.8	3.7
費用	1,799	1,917	1,973	2,024	2,175	2,051	2,004	2,009	2,049	2,084	2,102	2,159
前年度比	-	6.6	2.9	2.6	7.5	▲5.7	▲2.3	0.2	2.0	1.7	0.9	2.7

(2) 決算収支（経常利益・純利益）の推移



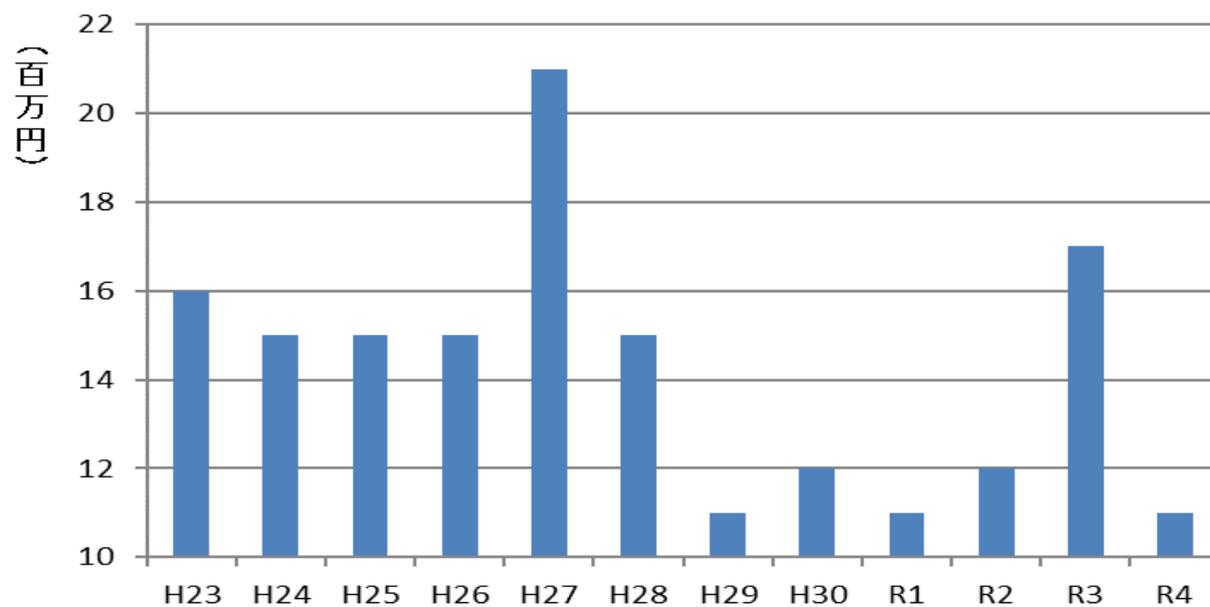
※平成27年度の経常利益、純利益の赤字は、市場金利の低下により将来の退職金給付による費用を計上したため

(単位 百万円)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
経常利益	15	59	49	7	▲141	▲24	0	63	12	2	▲70	▲56
純利益	16	59	49	5	▲142	▲25	57	63	12	2	▲74	▲56

3 本部配賦額

○ 本部費配賦額は、本部事務局の給与費の減等により、前年度比▲35.3% (▲600万円)



(単位 百万円)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
本部費配賦額	16	15	15	15	21	15	11	12	11	12	17	11
前年度比	-	▲6.3	0.0	0.0	40.0	▲28.6	▲26.7	9.1	▲8.3	9.1	41.7	▲35.3

4 収益

- 医業収益は、入院延患者数の増等により、前年度比+4.8% (+7,200万円)
- ・ 入院診療収益は、精神科救急急性期医療入院料対象患者の増等により増加
- ・ 外来診療収益は、デイケアおよび児童思春期対象患者の減等により減少
- ・ 運営費負担金は、精神病院の運営に要する経費の増等により増加
- ・ 補助金は、CT導入にかかる補助金の減により減少

(単位 百万円、%)

区 分	R4	R3	比 較	
			増減額	増減率
営業収益	2,085	2,013	72	3.6
うち医業収益	1,578	1,506	72	4.8
うち入院診療収益	1,369	1,284	85	6.6
うち外来診療収益	208	221	▲ 13	▲ 5.9
うち運営費負担金	400	380	20	5.3
うち補助金	31	54	▲ 23	▲ 42.6
営業外収益	18	15	3	20.0
うち運営費負担金	8	8	0	0.0
臨時利益	0	0	0	-
総 収 益	2,103	2,028	75	3.7
目的積立金取崩額	3	0	3	-
合 計	2,106	2,028	78	3.8
運営費負担金合計	408	388	20	5.2

(注) 表示単位未満を四捨五入しているため、各計の数値が、表内計算数値と一致しない場合がある。(以下同じ)

(単位 百万円)

区 分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
営業収益	1,779	1,948	1,995	2,007	2,011	2,007	1,987	2,056	2,047	2,071	2,013	2,085
うち医業収益	1,392	1,394	1,520	1,566	1,563	1,542	1,519	1,596	1,582	1,522	1,506	1,578
うち入院診療収益	1,228	1,203	1,323	1,357	1,351	1,323	1,300	1,370	1,351	1,304	1,284	1,369
うち外来診療収益	163	191	196	208	211	218	219	225	231	217	221	208
うち運営費負担金	313	382	352	350	367	381	395	386	393	393	380	400
うち補助金	33	121	34	3	3	2	2	3	2	87	54	31
営業外収益	35	28	26	22	22	19	17	16	14	15	15	18
うち運営費負担金	29	21	20	17	16	15	11	10	10	9	8	8
臨時利益	1	0	0	0	0	0	56	0	0	0	0	0
総 収 益	1,815	1,976	2,022	2,029	2,033	2,026	2,061	2,072	2,061	2,086	2,028	2,103
目的積立金取崩額												3
合 計	1,815	1,976	2,022	2,029	2,033	2,026	2,061	2,072	2,061	2,086	2,028	2,106
運営費負担金合計	342	403	372	367	383	396	406	396	403	402	388	408

5 目的積立金取崩額の内訳

(単位 百万円、%)

区	分	金額 (収支ベース)
I	医療従事者等確保積立金	3
	①現医療従事者等の処遇向上	3
	医師のインセンティブ制度	0
	看護師の処遇向上（夜間保育料全額支給等）	3
	合計	3

6 費用

- 医業費用は、給与費や経費の増等により前年度比+3.1% (+6,300万円)
- ・ 給与費は、クラスター発生の未然防止にかかる手当の増等により増加
 - ・ 経費は、水道光熱費の増等により増加
 - ・ 減価償却費は、電気設備における建物附属設備の減等により減少

(単位 百万円、%)

区	分	R4	R3	比較	
				増減額	増減率
営業費用		2,140	2,081	59	2.8
	医業費用	2,085	2,022	63	3.1
	うち給与費	1,468	1,428	40	2.8
	うち材料費	97	91	6	6.6
	うち経費	321	288	33	11.5
	うち減価償却費	192	212	▲ 20	▲ 9.4
	うちその他医業費用	7	2	5	-
	本部配賦額	11	17	▲ 6	▲ 35.3
	控除対象外消費税等	44	43	1	2.3
営業外費用		19	17	2	11.8
臨時損失		0	4	▲ 4	-
総	費用	2,159	2,102	57	2.7

(単位 百万円)

区	分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
営業費用		1,741	1,874	1,933	1,988	2,143	2,021	1,982	1,987	2,030	2,066	2,081	2,140
	医業費用	1,699	1,812	1,895	1,943	2,092	1,976	1,941	1,945	1,983	2,007	2,022	2,085
	うち給与費	1,187	1,273	1,302	1,354	1,506	1,397	1,371	1,364	1,415	1,439	1,428	1,468
	うち材料費	78	87	93	89	94	99	87	88	90	89	91	97
	うち経費	233	251	267	262	259	249	255	269	274	279	288	321
	うち減価償却費	193	190	225	230	224	224	222	218	198	199	212	192
	うちその他医業費用	8	11	8	8	9	7	7	6	6	2	2	7
	本部配賦額	16	15	15	15	21	15	11	12	11	12	17	11
	控除対象外消費税等	26	48	23	30	30	30	29	30	36	47	43	44
営業外費用		58	44	39	34	32	29	23	21	19	18	17	19
臨時損失		0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	4	0
総	費用	1,799	1,917	1,973	2,024	2,175	2,051	2,004	2,009	2,049	2,084	2,102	2,159

山口県立病院機構の決算見込み（損益計算書ベース）について

1 令和4年度決算の概況

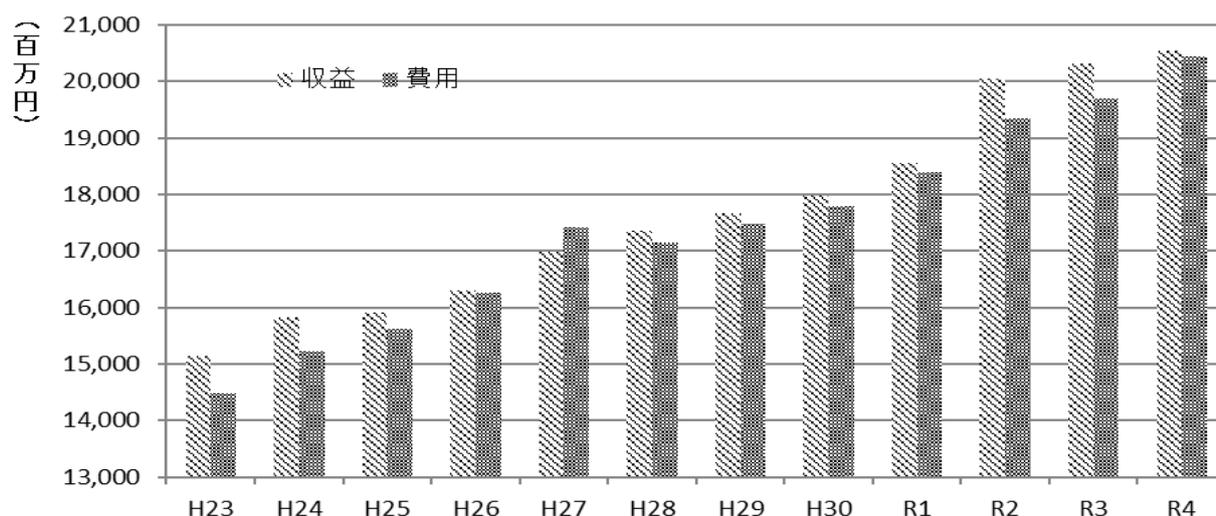
決算規模	[収益] 205億3,900万円（対前年度比+1.1% +2億1,500万円） [費用] 204億4,700万円（対前年度比+3.8% +7億5,200万円）
収益の状況	○ 医業収益は、入院診療収益の増等により増加 ○ 補助金は、新型コロナ補助金の減等により減少
費用の状況	○ 医業費用は、給与費や経費の増等により増加 ○ 控除対象外消費税は、経費の増等により増加
経常利益	○ 1億1,800万円の黒字（5年連続）
純利益	○ 9,200万円の黒字（7年連続）
総利益	○ 1億6,600万円の黒字（7年連続） ※目的積立金取崩額7,400万円を含む

利益剰余金	○ 残高は、23億1,800万円 ※次期中期目標期間繰越額
-------	-------------------------------

2 決算規模・決算収支

- 決算規模は、収益205億3,900万円、費用204億4,700万円となり、収益費用とも前年度決算額より増加。独法化以降、いずれも増加する傾向
- 経常利益は5年連続の黒字、純利益は7年連続の黒字

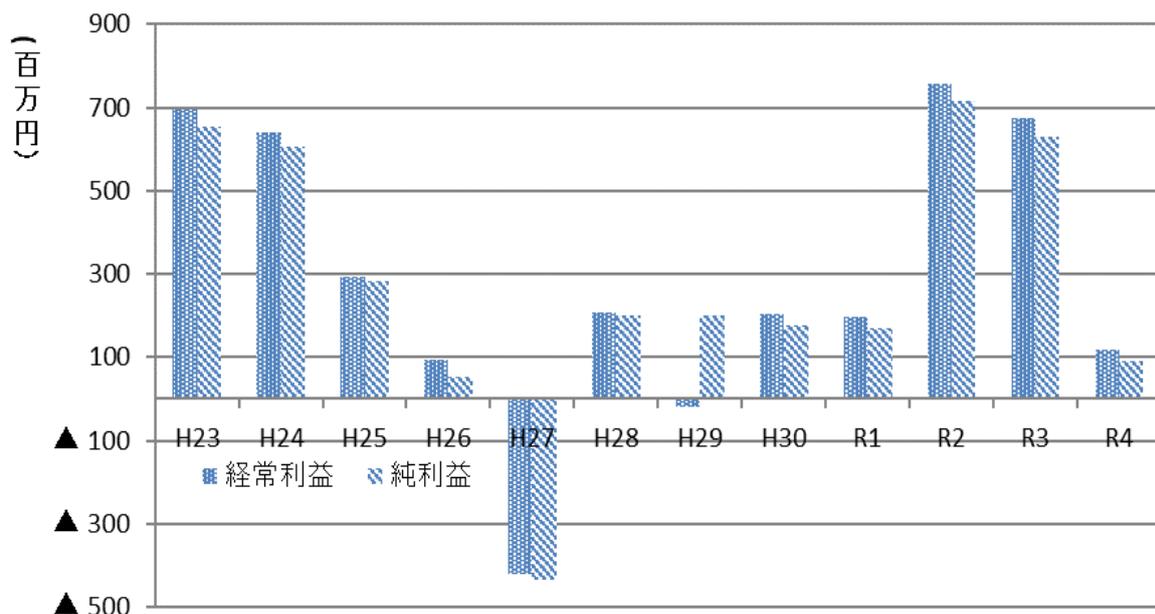
(1) 決算規模の推移



(単位: 百万円、%)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
収 益	15,134	15,819	15,904	16,304	16,981	17,350	17,674	17,975	18,558	20,055	20,324	20,539
前年度比	-	4.5	0.5	2.5	4.2	2.2	1.9	1.7	3.2	8.1	1.3	1.1
費 用	14,482	15,215	15,620	16,251	17,414	17,151	17,474	17,797	18,388	19,338	19,695	20,447
前年度比	-	5.1	2.7	4.0	7.2	▲ 1.5	1.9	1.8	3.3	5.2	1.8	3.8

(2) 決算収支（経常利益・純利益）の推移

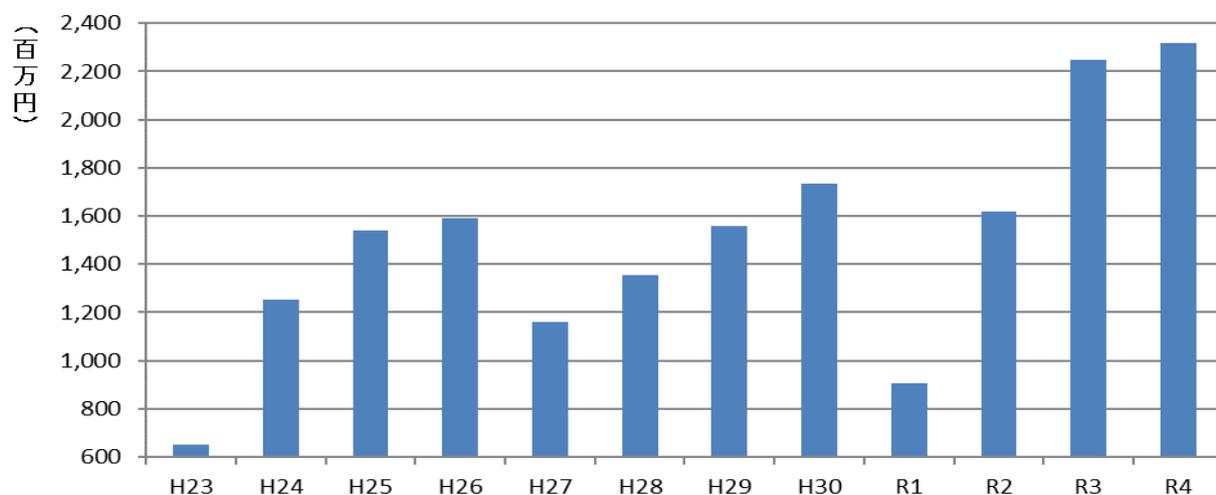


(単位 百万円)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
経常利益	694	639	294	93	▲ 420	209	▲ 19	203	197	756	675	118
純利益	652	604	283	53	▲ 433	199	199	178	170	717	629	92

3 利益剰余金残高（次期中期目標期間繰越額）

- 利益剰余金は、純利益の確保により増加し、前年度比+6,800万円
- 第3期中期計画期間中（令和元年度からの4年間）に確保した利益剰余金（15億8,300万円）は、病院の施設の整備、医療機器の購入、病院建替えに向けた機能強化に必要な人材確保や育成等に充てる。



(単位 百万円)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
剰余金残高	652	1,255	1,539	1,591	1,159	1,357	1,557	1,734	904	1,621	2,250	2,318
前年度比	-	92.5	22.6	3.4	▲ 27.2	17.1	14.7	11.4	▲ 47.9	79.3	38.8	3.0

4 収益

- 医業収益は、入院診療収益が増加し、前年度比+5.8%(+9億3,100万円)
 - ・入院収益は、効率的なベッドコントロールを行うとともに、重症患者の受け入れやICU稼働率向上の取り組みに加え、地域包括ケア病棟(回復期)から一般病棟(急性期)への病床機能転換を図ったこと等により増加
 - ・外来診療収益は、外来延患者数の増等により増加
- 補助金は、新型コロナ患者受け入れの増加に伴う、病床確保料の減等に伴い減少。前年度比▲36.5%(▲7億500万円)

区 分	R4	R3	比 較	
			増減額	増減率
営業収益	20,443	20,241	202	1.0
うち医業収益	16,977	16,046	931	5.8
うち入院診療収益	12,530	11,630	900	7.7
うち外来診療収益	4,215	4,131	84	2.0
うち運営費負担金	1,883	1,938	▲55	▲2.8
うち補助金	1,225	1,930	▲705	▲36.5
営業外収益	95	83	12	14.5
うち運営費負担金	13	14	▲1	▲7.1
臨時利益	1	0	1	-
総 収 益	20,539	20,324	215	1.1
目的積立金取崩額	74		74	-
合 計	20,613	20,324	289	1.4
運営費負担金合計	1,896	1,952	▲56	▲2.9

(注) 表示単位未満を四捨五入しているため、各計の数値が、表内計算数値と一致しない場合がある。(以下同じ)

(単位: 百万円)

区 分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
営業収益	14,978	15,678	15,738	16,181	16,839	17,222	17,325	17,816	18,453	19,972	20,241	20,443
うち医業収益	12,538	13,232	13,763	14,164	14,828	15,189	15,367	15,861	16,518	16,141	16,046	16,977
うち入院診療収益	9,537	10,120	10,722	10,959	11,371	11,471	11,632	11,993	12,371	12,087	11,630	12,530
うち外来診療収益	2,713	2,866	2,803	2,968	3,196	3,438	3,452	3,594	3,878	3,824	4,131	4,215
うち運営費負担金	2,200	2,100	1,670	1,692	1,700	1,708	1,650	1,637	1,634	1,742	1,938	1,883
うち補助金	132	211	108	106	72	66	65	75	78	1,854	1,930	1,225
営業外収益	153	141	165	122	142	128	118	159	104	82	83	95
うち運営費負担金	66	53	45	40	37	28	23	20	18	16	14	13
臨時利益	3	0	0	0	0	0	232	0	0	0	0	1
総 収 益	15,134	15,819	15,904	16,304	16,981	17,350	17,674	17,975	18,558	20,055	20,324	20,539
目的積立金取崩額												74
合 計	15,134	15,819	15,904	16,304	16,981	17,350	17,674	17,975	18,558	20,055	20,324	20,613
運営費負担金合計	2,266	2,153	1,715	1,732	1,737	1,736	1,673	1,657	1,652	1,758	1,952	1,896

5 費用

- 医業費用は、給与費、材料費、経費の増加により、前年度比+4.1% (+7億6,700万円)
 - ・給与費は、機能強化に向けた体制整備を図ったこと等により増加
 - ・材料費は、医業収益の増等に伴う診療材料費の増等により増加
 - ・経費は、水道光熱費の増等により増加
 - ・減価償却費は、ICUや手術室改修における建物減価償却費の減等により減少
- 控除対象外消費税は、経費や材料費の増等により前年度比+4.5% (+3,600万円)

(単位 百万円、%)

区 分	R4	R3	比 較	
			増減額	増減率
営業費用	20,389	19,620	769	3.9
医業費用	19,250	18,483	767	4.1
うち給与費	10,131	9,712	419	4.3
うち材料費	4,852	4,609	243	5.3
うち経費	2,796	2,577	219	8.5
うち減価償却費	1,410	1,550	▲ 140	▲ 9.0
うちその他医業費用	61	35	26	74.3
一般管理費	305	340	▲ 35	▲ 10.3
控除対象外消費税等	834	798	36	4.5
営業外費用	31	28	3	10.7
臨時損失	27	46	▲ 19	▲ 41.3
総 費 用	20,447	19,695	752	3.8

(単位 百万円)

区 分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
営業費用	14,315	15,080	15,524	16,135	17,323	17,087	17,419	17,685	18,328	19,267	19,620	20,389
医業費用	13,476	14,302	14,902	15,241	16,442	16,247	16,592	16,772	17,380	18,106	18,483	19,250
うち給与費	7,266	7,473	7,690	8,098	8,926	8,575	8,877	8,950	9,036	9,633	9,712	10,131
うち材料費	3,322	3,487	3,710	3,680	3,884	4,040	4,166	4,306	4,602	4,549	4,609	4,852
うち経費	1,816	2,053	2,176	2,198	2,238	2,204	2,286	2,252	2,362	2,529	2,577	2,796
うち減価償却費	1,031	1,238	1,267	1,203	1,332	1,373	1,208	1,204	1,324	1,368	1,550	1,410
うちその他医業費用	41	51	59	62	62	55	56	59	55	56	35	61
一般管理費	489	429	302	311	359	305	280	287	254	261	340	305
控除対象外消費税等	350	349	319	584	522	535	547	626	694	900	798	834
営業外費用	122	100	85	75	77	54	43	87	33	32	28	31
臨時損失	45	36	11	41	13	10	13	25	27	40	46	27
総 費 用	14,482	15,215	15,620	16,251	17,414	17,151	17,474	17,797	18,388	19,338	19,695	20,447

令和4年度収支実績の前年度対比

山口県立病院機構

【医業収益】

入院診療収益は、入院診療収益の増等により増加
 外来診療収益は、外来延患者数の増等により増加

【その他収益】

補助金収益は、新型コロナ患者の受け入れの増加に伴い減少

【医業費用】

給与費は、機能強化に向けた体制整備等により増加
 材料費は、診療材料費等の増等により増加
 経費は、水道光熱費の増等により増加
 減価償却費は、建物減価償却費の減等により減少

【その他費用】

控除対象外消費税は、経費や材料費の増等により増加

◆対比表（損益計算書ベース）

（単位 千円）

区 分	R3	R4	差額	主な増減内容（前年度対比）
収益の部	20,323,676	20,538,605	214,929	
営業収益	20,240,535	20,443,116	202,581	
医業収益	16,045,643	16,976,604	930,961	
うち入院診療収益	11,629,896	12,529,992	900,096	入院診療収益の増
うち外来診療収益	4,415,747	4,446,612	30,865	外来延患者数の増（総合C）
運営費負担金収益	1,938,313	1,883,401	△ 54,912	建設改良に要する経費の減
補助金収益	1,930,418	1,225,432	△ 704,986	コロナ関連補助金の減
その他営業収益	326,161	357,679	31,518	受託収入の増
営業外収益	82,985	94,497	11,512	
運営費負担金収益	14,104	12,738	△ 1,366	
その他営業外収益	68,881	81,759	12,878	
臨時利益	156	992	836	
費用の部	19,694,985	20,446,388	751,403	
営業費用	19,620,487	20,388,596	768,109	
医業費用	18,483,037	19,249,687	766,650	
給与費	9,711,518	10,130,963	419,445	機能強化に向けた体制整備による増等
材料費	4,609,359	4,851,536	242,177	診療材料費の増等
経費	2,576,870	2,796,473	219,603	水道光熱費の増等
減価償却費	1,550,377	1,409,764	△ 140,613	建物減価償却費の減等
その他医業費用	34,911	60,951	26,040	
一般管理費	339,764	304,849	△ 34,915	
控除対象外消費税等	797,688	834,060	36,372	経費の増等による増
営業外費用	28,106	31,153	3,047	
臨時損失	46,391	26,639	△ 19,752	
当期純利益	628,690	92,217	△ 536,473	
目的積立金取崩額		73,861	73,861	
（経常利益）	674,926	117,864	△ 557,062	

（注）表示単位未満を四捨五入しているため、表内計算数値と一致しない場合がある。

◆令和4年度収支実績の前年度対比表(部門別内訳)

前年度対比
(単位:千円)

区分	R3収支実績 A				R4収支実績 B				差額 (B-A)				主な増減理由(前年度対比)			
	総合C	ところC	本部	計	総合C	ところC	本部	計	総合C	ところC	本部	計	総合C	ところC	本部	計
収益の部	18,121,490	2,027,888	174,298	20,323,676	18,248,862	2,103,296	186,447	20,538,605	127,372	75,408	12,149	214,929				
営業収益	18,053,017	2,013,220	174,298	20,240,535	18,171,384	2,085,286	186,446	20,443,116	118,367	72,066	12,148	202,581				
医療収益	14,539,924	1,505,719	0	16,045,643	15,398,897	1,577,707	0	16,976,604	858,973	71,988	0	930,961				
うち入院診療収益	10,345,794	1,284,102	0	11,629,896	11,161,207	1,368,785	0	12,529,992	815,413	84,683	0	900,096	入院症患者数の増 (55,342人→59,902人)			
うち外来診療収益	3,910,259	220,896	0	4,131,155	4,006,835	208,225	0	4,215,060	96,576	△12,671	0	83,905	外来症患者数の減 (31,161人→28,842人)			
運営費負担金収益	1,383,992	380,023	174,298	1,938,313	1,322,773	400,342	160,286	1,883,401	△61,219	20,319	△14,012	△54,912	建設改良に要する経費の減			看護師養成確保事業に要する経費の減
補助金収益	1,876,894	53,524	0	1,930,418	1,194,283	31,149	0	1,225,432	△682,611	△22,375	0	△704,986	CT導入にかかる補助金の減			
その他営業収益	252,207	73,954	0	326,161	255,431	76,088	26,160	357,679	3,224	2,134	26,160	31,518				
営業外収益	68,329	14,656	0	82,985	76,486	18,011	1	94,497	8,157	3,355	1	11,512				
運営費負担金収益	5,691	8,413	0	14,104	4,696	8,042	0	12,738	△995	△371	0	△1,366				
その他営業外収益	62,638	6,243	0	68,881	71,790	9,969	1	81,759	9,152	3,726	1	12,878				
臨時利益	144	12	0	156	992	0	0	992	848	△12	0	836				
費用の部	17,266,618	2,085,359	343,008	19,694,985	17,989,978	2,148,531	307,880	20,446,388	723,360	63,172	△35,128	751,403				
営業費用	17,213,100	2,064,379	343,008	19,620,487	17,952,227	2,128,902	307,467	20,388,596	739,127	64,523	△35,541	768,109				
医療費用	16,461,231	2,021,806	0	18,483,037	17,164,972	2,084,716	0	19,249,687	703,741	62,910	0	766,650				
給与と費	8,283,943	1,427,575	0	9,711,518	8,662,949	1,468,014	0	10,130,963	379,006	40,439	0	419,445	機能強化に向けた体制整備による増等			給料や賞与の増等
材料費	4,517,887	91,472	0	4,609,359	4,754,183	97,353	0	4,851,536	236,296	5,881	0	242,177	医薬品費の増			
経費	2,288,618	288,252	0	2,576,870	2,475,584	320,888	0	2,796,473	186,966	32,636	0	219,603	水道光熱費の増			水道光熱費の増
減価償却費	1,338,161	212,216	0	1,550,377	1,217,880	191,884	0	1,409,764	△120,281	△20,332	0	△140,613	建物減価償却費の減等による減			建物減価償却費の減等による減
その他医療費用	32,621	2,290	0	34,911	54,375	6,577	0	60,951	21,754	4,287	0	26,040	研修費の増			
一般管理費	0	0	339,764	339,764	0	0	304,849	304,849	0	0	△34,915	△34,915				給与費の減
控除対象外消費税等	751,870	42,573	3,245	797,688	787,256	44,186	2,618	834,060	35,386	1,613	△627	36,372	材料費の増等による増			
営業外費用	11,242	16,864	0	28,106	11,593	19,560	0	31,153	351	2,696	0	3,047				
臨時損失	42,276	4,115	0	46,391	26,158	68	413	26,639	△16,118	△4,047	413	△19,752				
当期純利益	854,872	△57,471	△168,710	628,690	258,884	△45,234	△121,433	92,217	△595,988	12,237	47,277	△536,473				
目的積立金取崩額					70,705	3,156	0	73,861	70,705	3,156	0	73,861				
(経常利益)	897,004	△53,369	△168,710	674,926	284,050	△45,166	△121,020	117,864	△612,954	8,203	47,690	△557,062				
(経常利益 本部費配賦込)	745,165	△70,239	0	674,926	173,546	△56,095	0	117,451	△571,619	14,144	0	△557,475				
経常収支比率	105.21%	97.44%	50.81%	103.43%	101.58%	97.90%	60.64%	100.58%								

(注)表示単位未満を四捨五入しているため、表内計算数値と一致しない場合がある。

令和4年度収支計画と収支実績の対比

山口県立病院機構

【医業収益】

入院診療収益は、入院延患者数の減等により減少
 外来診療収益は、外来延患者数の減等により減少

【補助金収益】

コロナ関連補助金の増等により増加

【医業費用】

給与費は、職員数の減等により減少
 材料費は、患者数の減に伴う診療材料費の減により減少
 減価償却費は、建設改良の減等により減少

【その他費用】

一般管理費は、職員数の減に伴う給与費の減等により減少

◆対比表（損益計算書ベース）

（単位 千円）

区 分	収支計画	収支実績	差額	主な増減内容（計画対比）
収益の部	20,984,831	20,538,605	△ 446,226	
営業収益	20,885,030	20,443,116	△ 441,914	
医業収益	18,608,613	16,976,604	△ 1,632,009	
うち入院診療収益	13,848,323	12,529,992	△ 1,318,331	入院延患者数の減
うち外来診療収益	4,448,544	4,215,060	△ 233,484	外来延患者数の減
運営費負担金収益	1,883,422	1,883,401	△ 21	
補助金収益	84,060	1,225,432	1,141,372	コロナ関連補助金の増
その他営業収益	308,935	357,679	48,744	
営業外収益	99,801	94,497	△ 5,304	
運営費負担金収益	13,221	12,738	△ 483	
その他営業外収益	86,580	81,759	△ 4,821	
臨時利益	0	992	992	
費用の部	20,925,452	20,446,388	△ 479,064	
営業費用	20,860,621	20,388,596	△ 472,025	
医業費用	19,529,111	19,249,687	△ 279,424	
給与費	10,159,286	10,130,963	△ 28,323	職員数減に伴う給与費の減
材料費	5,042,848	4,851,536	△ 191,312	診療材料費の減
経費	2,798,827	2,796,473	△ 2,354	
減価償却費	1,444,113	1,409,764	△ 34,349	建設改良の減
その他医業費用	84,037	60,951	△ 23,086	研修費の減
一般管理費	426,911	304,849	△ 122,062	職員数減に伴う給与費の減
控除対象外消費税等	904,599	834,060	△ 70,539	
営業外費用	28,282	31,153	2,871	
臨時損失	36,549	26,639	△ 9,910	
当期純利益	59,379	92,217	32,838	
目的積立金取崩額	0	73,861	73,861	
(経常利益)	95,928	117,864	21,936	

(注) 表示単位未満を四捨五入しているため、表内計算数値と一致しない場合がある。

◆令和4年度収支計画と収支実績との対比表(部門別内訳)

計 画 対 比
(単位 千円)

区分	R4収支計画 A				R4収支実績 B				差額 (B-A)				主な増減理由(計画対比)			
	総合C	ころこ	本部	計	総合C	ころこ	本部	計	総合C	ころこ	本部	計	総合C	ころこ	本部	
収益の部	18,558,710	2,243,048	183,073	20,984,831	18,248,862	2,103,296	186,447	20,538,605	△309,848	△139,752	3,374	△446,226				
営業収益	18,472,391	2,229,566	183,073	20,885,030	18,171,384	2,085,286	186,446	20,443,116	△301,007	△144,280	3,373	△441,914				
医療収益	16,849,916	1,758,697	0	18,608,613	15,398,897	1,577,707	0	16,976,604	△1,451,019	△180,990	0	△1,632,009				
うち入院診療収益	12,356,231	1,492,092	0	13,848,323	11,161,207	1,368,785	0	12,529,992	△1,195,024	△123,307	0	△1,318,331	入院延患者数の減 (62,415人→59,902人)			
うち外来診療収益	4,182,939	265,605	0	4,448,544	4,006,835	208,225	0	4,215,060	△176,104	△57,380	0	△233,484	外来延患者数の減 (34,267人→28,842人)			
運営費負担金収益	1,308,513	391,836	183,073	1,883,422	1,322,773	400,342	160,286	1,883,401	14,260	8,506	△22,787	△21	公衆衛生活動に要する 経費の増	看護師養成確保事業 に要する経費の減		
補助金収益	79,680	4,380	0	84,060	1,194,283	31,149	0	1,225,432	1,114,603	26,769	0	1,141,372	コロナ関連補助金の増			
その他営業収益	234,282	74,653	0	308,935	255,431	76,088	26,160	357,679	21,149	1,435	26,160	48,744				
営業外収益	86,319	13,482	0	99,801	76,486	18,011	1	94,497	△9,833	4,529	1	△5,304				
運営費負担金収益	5,304	7,917	0	13,221	4,696	8,042	0	12,738	△608	125	0	△483				
その他営業外収益	81,015	5,565	0	86,580	71,790	9,969	1	81,759	△9,225	4,404	1	△4,821				
臨時利益	0	0	0	0	992	0	0	992	992	0	0	992				
費用の部	18,275,902	2,216,063	433,487	20,925,452	17,989,978	2,148,531	307,880	20,446,388	△285,924	△67,532	△125,607	△479,064				
営業費用	18,229,949	2,197,185	433,487	20,860,621	17,952,227	2,128,902	307,467	20,388,596	△277,722	△68,283	△126,020	△472,025				
医療費用	17,375,531	2,153,580	0	19,529,111	17,164,972	2,084,716	0	19,249,687	△210,559	△68,864	0	△279,424				
給与費	8,657,271	1,502,015	0	10,159,286	8,662,949	1,468,014	0	10,130,963	5,678	△34,001	0	△28,323	職員数の減			
材料費	4,941,076	101,772	0	5,042,848	4,754,183	97,353	0	4,851,536	△186,893	△4,419	0	△191,312	診療材料費の減			
経費	2,460,015	338,812	0	2,798,827	2,475,584	320,888	0	2,796,473	15,569	△17,924	0	△2,354	水道光熱費の増			
減価償却費	1,240,710	203,403	0	1,444,113	1,217,880	191,884	0	1,409,764	△22,830	△11,519	0	△34,349	建設改良の減			
その他医療費用	76,459	7,578	0	84,037	54,375	6,577	0	60,951	△22,084	△1,001	0	△23,086	研修費の減			
一般管理費	0	0	426,911	426,911	0	0	304,849	304,849	0	△122,062	△122,062	△122,062	職員数減に伴う給与 費の減			
控除対象外消費税等	854,418	43,605	6,576	904,599	787,256	44,166	2,618	834,060	△67,162	581	△3,958	△70,539				
営業外費用	11,135	17,147	0	28,282	11,593	19,580	0	31,153	458	2,413	0	2,871				
臨時損失	34,818	1,731	0	36,549	26,158	68	413	26,639	△8,660	△1,663	413	△9,910				
当期純利益	282,808	26,985	△250,414	59,379	258,884	△45,233	△121,433	92,217	△23,924	△72,220	128,981	32,838				
目的積立金取崩額					70,705	3,157	0	73,861	70,705	3,157	0	73,861				
(経常利益)	317,626	28,716	△250,414	95,928	284,050	△45,166	△121,020	117,864	△33,576	△73,882	129,394	21,936				
(経常利益 本部費配賦込)	92,253	3,675	0	95,928	173,546	△56,094	0	117,451	81,293	△59,769	0	21,523				
経 常 収 支 比 率	101.74%	101.30%	42.23%	100.46%	101.58%	97.90%	60.64%	100.58%								

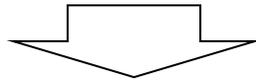
(注)表示単位未満を四捨五入しているため、表内計算数値と一致しない場合がある。

令和4年度業務実績及び第3期中期目標期間評価

1 令和4年度業務実績の自己評価結果

(1) 自己評価の方法

- ① 年度計画の個別項目ごとに達成状況を5段階評価（5点、4点、3点、2点、1点）
 ※3点が標準（達成度90～100%未満）



- ② 年度計画の4つの大項目ごとに達成状況を5段階評価（s、a、b、c、d）
 ※bが標準（評点①の単純平均値2.7以上3.4以下）
 （d/1.8以下、c/1.9～2.6、b/2.7～3.4、a/3.5～4.2、s/4.3以上）



- ③ 年度計画全体の達成状況を5段階評価（S、A、B、C、D）
 ※Bが標準（評点②の加重平均値2.7以上3.4以下）
 （D/1.8以下、C/1.9～2.6、B/2.7～3.4、A/3.5～4.2、S/4.3以上）

(2) 自己評価の結果

◆全体的な状況

中期計画全体の進捗は「順調」（A評価）

◆評価概要

区分	評価 項目数	評点別項目数					評点 平均値	評定
		5点	4点	3点	2点	1点		
業務の質の向上	43	7	22	14	0	0	3.8	a
業務運営の改善及び効率化	7	0	4	3	0	0	3.6	a
財政内容の改善	1	0	1	0	0	0	4.0	a
その他重要事項	2	2	0	0	0	0	5.0	s
全体	53	9	27	17	0	0	3.9	A

※全体欄の評点平均値は、加重平均したものの

【参考：令和元～4年度業務実績及び第3期中期目標期間項目別評価一覧】

No	大項目	中項目	小項目	個別項目	事業年度評価				備考 (R3とR4の評価変更理由)	目標 期間 評価
					R1	R2	R3	R4		
1	第1	1		総合医療センター（No2～No15総括評価）	3	3	3	4		4
2				救急医療	3	3	3	3		3
3				周産期医療	3	3	3	3		3
4				へき地医療	4	4	4	4		4
5				災害医療	4	4	4	4		4
6				感染症医療	4	5	5	5		5
7				専門医療（がん）（No8～No9総括評価）	4	4	4	5	がんゲノム医療連携病院の指定	5
8				固形がん	4	4	4	4		4
9				血液がん	3	3	3	3		3
10				脳卒中	4	4	4	5	脳血管内手術件数の増等	5
11				心筋梗塞等の心血管疾患	3	3	3	3		3
12				糖尿病	3	3	3	3		3
13				人工関節治療	5	5	5	5		5
14				リハビリテーション	5	5	5	5		5
15				その他	4	4	4	5	てんかん支援拠点病院の指定	5
16				こころの医療センター（No17～No22総括評価）	3	3	3	3		3
17				精神科救急・急性期医療	4	4	4	4		4
18				難治性・重症患者	3	3	3	3		3
19				児童・思春期精神科医療	4	4	4	3	児童・思春期外来診療延べ患者数等の減	3
20				認知症、高次脳機能障害	4	4	4	4		4
21				災害精神医療	4	4	4	4		4
22				司法精神医療体制の向上	3	3	3	3		3
23				(1) 県内医療機関等との連携	4	4	4	4		4
24				(2) 県内医療機関への支援	4	4	4	4		4
25				社会的な要請への協力	3	3	3	3		3
26				(3) 医療従事者確保	4	4	4	5	山口東京理科大学との協定締結。修学資金返還支援給付金枠の採用試験実施	5
27				医療従事者の専門性向上	4	4	4	4		4
28				医療に関する安全性の確保	4	4	4	4		4
29				(4) 医療品及び医療機器の安全管理	4	4	4	4		4
30				院内感染防止対策	4	4	4	4		4
31				(5) 入院から退院までの支援体制の充実	4	4	4	4		4
32				インフォームドコンセントの充実	3	3	3	3		3
33				クリニカルパスの活用	4	4	4	4		4
34				患者及び家族への相談支援	3	3	3	4	患者への相談支援について、相談員の増員を図るなど、体制を強化	4
35				チーム医療の推進	4	4	4	4		4
36				適正な情報管理	3	3	3	3		3
37				院内サービスの向上	4	4	4	4		4
38				情報の発信	4	3	4	4		4
39				(6) 施設設備の整備	4	4	4	4		4
40				2	臨床研究の実施	4	4	4	4	
41	(1) 臨床研修医の受け入れ	4	4	4	4		4			
42	(2) 実習生の受け入れ	3	3	3	4	山口東京理科大学との連携研修を実施	4			
43	(3) 地域医療従事者の育成	3	3	3	3		3			
44	第2	2		内部統制の推進	4	4	4	4		4
45				経営管理体制の強化	3	3	3	3		3
46				組織、人員配置の弾力的運用	4	4	4	4		4
47				適正な予算執行	4	4	4	4		4
48				2病院の連携	3	3	3	3		3
49	3			収入の確保	3	3	3	3		3
50				費用の節減	4	4	4	4		4
51	第3			経常収支の改善	4	4	4	4		4
52	第4	1		人材の確保と育成に関する計画	3	4	4	5	修学資金返還支援給付金枠の採用試験実施。各種手当の拡充。インセンティブ制度の導入等	5
53	2			働きやすい職場づくりに関する計画	4	4	4	5	夜間保育の体制強化と加進改善、勤怠管理/引込導入等による働き方改革のための体制構築	5

2 令和4年度の主要な成果

(1) 業務の質の向上

① 医療の提供

ア 県立総合医療センター

- (ア) 県の基幹病院として、医療需要を踏まえ、高度急性期・急性期医療への対応強化のため、地域包括ケア病棟（回復期）から一般病棟（急性期）へ転換するとともに、地域の医療機関との連携を強化し、県民により質の高い医療を継続的に提供
- (イ) 機能強化に関する基本構想の策定について、県が専門的な意見等を集約し、当構想に反映することを目的に設置した「県立総合医療センター機能強化基本構想検討委員会」に参画するとともに、専門的な見地から基礎資料作成や検証等により支援を実施
- (ウ) 地域がん診療連携拠点病院の指定更新を受けるとともに、新たに買替えたリニアックを活用し、がん患者の病態・病状に応じた適切ながん治療を提供
- (エ) 患者の遺伝子検査及びその情報を基に治療法を検討するゲノム医療の体制を構築し、令和5年2月にがんゲノム医療連携病院に指定
- (オ) 助産院において、産後の母子に対し、地域ニーズに合わせた産後ケアを実施
- (カ) へき地医療機関の若手医師に対し、実際の患者の通常診療において5Gを活用して遠隔指導を行う、実証試験を実施
- (キ) 感染症指定医療機関として、他院では受け入れが困難な重症患者や妊婦等を含む多数の新型コロナウイルス感染症患者に適切な医療を提供
- (ク) 新型コロナウイルス感染症の重症患者の受入人数を増加させるため、一般病棟及びICUの改修工事を実施
- (ケ) 県が実効性の高い新型コロナウイルス感染症対策が実施できるよう県新型コロナウイルス感染症対策室へ医師を派遣
- (コ) 県との新型コロナウイルス感染症に関する協定に基づき、感染拡大の防止や医療支援を行うために医療機関等へ医師を派遣
- (サ) 消化器内視鏡センターにおいて、鎮静化における苦しみや痛みの少ない内視鏡検査を行い、胃がんや大腸がんを早期に発見し、低侵襲な内視鏡治療を実施
- (シ) 心血管カテーテル治療室において、心臓疾患に対する高度専門医療を提供
- (ス) 人工関節センターでは、全国でも極めて例が少ないロボット2台体制による手術を実施。人工関節（股・膝）置換術件数は西日本でトップクラス
 - ・人工関節（股・膝）置換術件数 787 件（計画 400 件）
- (セ) 院内で 365 日リハビリテーションを実施する他、後方支援病院と連携した連続的リハビリテーションを実施
- (ソ) その他
 - てんかん支援拠点病院の指定を受けるとともに、てんかん外科学会等を開催したことに加え、てんかんに対する高密度脳波計や、脳波ビデオ同時記録装置等による高度な治療を提供

イ 県立こころの医療センター

- (ア) 精神科救急医療や司法精神医療に積極的に取り組むとともに、地域社会や他の医療機関と連携し、質の高い医療を提供
- (イ) 認知症疾患医療センターにおいて保健医療機関・介護機関と連携を図り、相談・支援体制を充実

(ウ) 他院では受け入れが困難な精神症状の重い新型コロナウイルス感染症患者を受入

ウ 地域医療への支援

患者支援連携センターにおいて、病病連携会議を開催するなど、地域の医療機関との連携体制を強化（総合C）

・紹介率 76.6%（50%以上）、逆紹介率 121.3%（70%以上）

※括弧内は地域医療支援病院の承認要件

エ 医療従事者の確保、専門性の向上

(ア) 看護学生等に対し、ブースを設けた実地での職場紹介や隣県の看護部設置大学への訪問に加え、インターネットを活用した効果的な採用情報の発信に努めるとともに、WEBを交えた採用試験の追加実施、随時実施を強化

(イ) 修学資金返還支援給付金制度を創設し、当該給付金枠の採用試験を開始するとともに、山口県内の看護学校等に周知を行い、看護師確保対策を強化

(ウ) 県内初となる薬学部を創設した山陽小野田市立山口東京理科大学と連携協定を締結し、薬剤師の育成・確保と地域医療の発展に寄与

(エ) 看護師不足に対応するため、人材育成・採用担当の専任職員を配置し、専門的な知見を有するコンサルタントと職員が協同して、新人看護師の離職防止や教育指導を充実

(オ) 夜勤従事者の確保対策として、夜間保育を可能とする院内保育施設の充実・強化や夜間保育利用料等の負担軽減及び夜勤協力手当を創設

オ 医療安全対策、患者サービスの向上

(ア) 院内迅速対応システム（RRS）を活用し、患者の急激な病態悪化を予防

(イ) 医薬品に関する院内情報誌を定期的に発行するなど、安全管理の充実に向けた取組を推進

(ウ) 臨床工学技士の常置人数を増員し、安全管理の強化と看護師からのタスクシフトを推進

(エ) 新型コロナの院内感染防止のため、発熱外来の設置、面会の禁止、来院者の検温・問診等を実施、さらに、入院時の抗原検査又はPCR検査の実施に加え、入院後も一定期間は検査を実施し、陰性を確認

(オ) がん等に罹患した患者の治療と仕事の両立に関する相談を実施するほか、離職している患者への就職支援を実施（総合C）

(カ) 病棟再編による各診療センターの専門性に合わせ、専門・認定看護師がそれぞれの専門分野に関連するチーム医療を実施（総合C）

長期入院患者の地域移行の推進のため、多職種支援チーム（地域生活支援MDT）による退院支援を実施（こころC）

(キ) 患者及び来院者のニーズを把握するため、患者満足度アンケートを実施

・総合医療センター患者満足度 98.7%（計画 95.0%）

・こころの医療センター患者満足度 95.6%（計画 95.0%）

(ク) 県民公開講座のハイブリッド形式による開催、病院広報誌の定期発行、テレビ番組「やまぐち医療最前線」の放送などにより、健康情報や高度・専門医療の現状などの情報を発信

カ 施設設備の整備

- ・新型コロナウイルス感染症患者への適切な医療に必要な医療機器、院内感染防止に必要な検査機器の整備
- ・PET-CTやSPECT-CTの整備、画像診断ワークステーション(マンモグラフィ)の更新(総合C)
- ・電子情報ファイルの安定稼働の向上を図るためのファイルサーバーの更新(こころC)

② 医療に関する調査及び研究

疫学調査や臨床試験、多施設共同研究等を積極的に受託(総合C)

③ 医療従事者等の研修

医療関係の実習生の受入を実施

(初期臨床研修医33人、後期臨床研修医9人)(総合C)

(2) 業務運営の改善等

① 内部統制の推進

内部監査規程に基づき両病院を対象に内部監査を実施

② 効率的・効果的な業務運営、経営改善

ア 経営管理体制の強化

専門的な知見を有するコンサルタントと職員が協同し、経営改善に取り組むなど経営基盤を強化(総合C)

イ 組織・人員配置の弾力的運用

リハビリテーションの充実等のため理学療法士1名、作業療法士1名等増員(総合C)

ウ 2病院の連携

医薬品の共同調達については、山口大学医学部附属病院を加えた3病院による調達を行うことで、効率的な業務運営を実施(値引率 R3:17.8% → R4:16.9%)

③ 収益の確保、費用の節減・適正化

ア 収益の確保

きめ細やかなベットコントロールにより病床を効率的に運用(総合C)

イ 費用の節減

全国の医療機関のデータに基づくベンチマークによる価格交渉などにより、適正な価格での契約・購入を実施

・材料費対医業収益比率 30.9%(計画29%以下) (総合C)

・材料費対医業収益比率 6.2%(計画6%以下) (こころC)

(3) 財務内容の改善

経常収支の改善

ア 収支実績

病院機構全体の経常利益は、黒字となった。

(単位：千円)

区 分	R4 計画	R4 実績	差引
総合医療センター	317,626	284,050	△33,576
こころの医療センター	28,716	△45,166	△73,882
機構本部	△250,414	△121,020	129,394
法人全体	95,928	117,864	21,936

イ 収益及び費用の状況

収益の部は、前年度に比べ、214,929千円増加

《参考》

区 分		R4 実績	
		総合医療センター	こころの医療センター
入院	延患者数 (人)	138,306	59,902
	診療単価 (円)	81,001	22,850
外来	延患者数 (人)	207,142	28,842
	診療単価 (円)	19,343	7,220

費用の部は、前年度に比べ、751,403千円増加

ウ 経営指標の状況

- ・法人全体経常収支比率 100.6% (前年度 103.4%)
- ・総合医療センター経常収支比率 101.6% (前年度 105.2%)
- ・こころの医療センター経常収支比率 97.9% (前年度 97.4%)
- ・総合医療センター医業収支比率 89.7% (前年度 88.3%)
- ・こころの医療センター医業収支比率 75.7% (前年度 74.5%)
- ・総合医療センター流動性比率 152.9% (前年度 181.5%)
- ・こころの医療センター流動性比率 136.8% (前年度 179.8%)

(単位：百万円)

区 分	総合C	こころC	機構本部	法人全体
総収益	18,249	2,103	186	20,539
経常収益	18,248	2,103	186	20,538
営業収益	18,171	2,085	186	20,443
うち医業収益	15,399	1,578	0	16,977
営業外収益	76	18	0	94
臨時利益	1	0	0	1
総費用	17,990	2,149	308	20,447
経常費用	17,964	2,148	308	20,420
営業費用	17,952	2,128	307	20,389
うち医業費用	17,165	2,085	0	19,250
営業外費用	12	20	0	31
臨時損失	26	1	0	27
経常損益	284	△45	△122	118
純利益	259	△45	△122	92

(4) その他重要事項

① 人事に関する事項

- ア 職種別人材の需給状況や医療機関の採用状況などの情報収集に努め、採用試験のあり方について検証を行った上で、採用試験の追加試験に加え、随時試験の実施及びWEB面接の採用等適切な採用試験の実施（総合C）
- イ 看護師等修学資金等を返還中又は返還予定の看護師や看護学生を対象とする修学資金返還支援給付金枠の採用試験を新たに実施
- ウ 人事・給与制度の適正な運用を図るため、職員の要望を踏まえ、業務の精神的・身体的負担や危険性等を鑑み各種手当を拡充

② 就労環境に関する事項

- ア 職員満足度アンケート調査や職員ヒアリングの結果をもとに、夜間勤務帯の人員確保等、勤務環境の改善を促進
- イ 夜間保育人員の拡充や浴室設備の改修等を行い、院内保育施設の夜間保育体制の強化を図るとともに、夜間勤務者の負担軽減のため、夜間看護業務従事者子育て応援給付金制度を創設
- ウ 全職員を対象とした勤怠管理システムを導入し、試行運用を開始するなど、医師をはじめとする医療従事者の働き方改革の実現に向けた体制を整備
また、取組の評価を受けるため、医療機関勤務環境評価センターへ医師の労働時間短縮計画等を提出した。

3 対処すべき課題

(1) 県立病院として対応すべき医療の充実（県立総合医療センター）

総合医療センターの機能強化については、がんや心筋梗塞などの循環器病等に対する高度急性期医療の強化、生殖医療や遺伝子医療をはじめとする最先端医療への取組、災害医療・感染症医療などの政策的医療への対応、へき地医療・小児医療などの地域医療への貢献という大きく4つの視点に基づいて図っていく。

具体的には、全県レベルの基幹病院としての役割を担うために、がんなどの高度専門医療における最先端の低侵襲治療や、がんゲノム医療等の充実、今後とも起こり得る新たな感染症に備え、重症患者等への集中治療に対するHCU病床を拡充するなど、診療機能の強化を図る必要がある。

さらに、センターが将来にわたって、本県の感染症医療、高度専門医療等の拠点として中核的役割を一層果たしていけるよう、近隣に全面的に建て替えることを基本に、地域にも配慮しながら、県をはじめとする関係機関とも連携を強化し、機能強化の着実な実現に取り組む必要がある。

(2) 県立病院として対応すべき医療の充実（県立こころの医療センター）

精神科救急医療の基幹病院としての役割を積極的に担うとともに、児童・思春期、認知症等の専門診療体制の機能強化に向けて、多職種チーム医療の一層の充実を図っていく。

また、災害拠点精神科病院として機能充実に努めるとともに、災害派遣精神医療チーム（DPAT）のさらなる充実を図る必要がある。

(3) 医療従事者の確保

機能強化の効果的な実現に向けては、施設整備のみだけでなく、これらを有効活用できる人材確保及び育成が極めて重要である。高度専門医療を担う医師、看護師や薬剤師、臨床工学技士等を確保・育成するために目的積立金を活用し、医師へのインセンティブ制度の活用、寄附講座の創設、看護師の勤務環境改善、県内大学と連携した研修環境等の整備をしていく必要がある。

また、長時間労働を是正し、働き方改革を推進していくために、多様な勤務形態の導入、タスクシフト/シェアの推進、ICTの活用など、業務負担の軽減に向けた取組等を推進する必要がある。

◇ 令和4年度決算

1 企業会計ベース

(1) 貸借対照表の要旨 (令和5年3月31日現在)

(単位 百万円)

資産の部		負債及び純資産の部	
固定資産	15,431	固定負債	12,137
有形固定資産	12,460	資産見返負債	1,285
土地	3,736	長期借入金	2,883
建物	5,620	移行前地方債償還債務	2,836
器械備品	3,052	退職給付引当金	5,133
その他	52	流動負債	4,277
無形固定資産	270	一年以内返済予定	1,169
投資その他の資産	2,700	未払金	2,441
流動資産	6,469	その他	667
現金及び預金	2,348	【負債合計】	16,414
未収入金	4,038	資本金	3,144
その他	83	利益剰余金	2,318
		【純資産合計】	5,486
合計	21,900	合計	21,900

(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。以下同じ。

(2) 損益計算書の要旨 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(単位 百万円)

費用及び損益の部		収益の部	
営業費用	20,389	営業収益	20,443
医業費用	19,250	医業収益	16,977
一般管理費	305	運営費負担金収益	1,883
その他	834	補助金	1,225
		その他	358
営業外費用	31	営業外収益	95
臨時損失	27	運営費負担金収益	13
当期純利益	92	その他	81
		臨時利益	1
合計	20,539	合計	20,539

2 官庁会計ベース

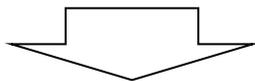
(単位 百万円)

収入の部		支出の部	
営業収益	20,264	営業費用	18,185
医業収益	16,977	医業費用	17,851
運営費負担金収益	1,883	一般管理費	296
補助金収益	1,252	その他	38
その他	152		
営業外収益	94	営業外費用	31
運営費負担金収益	13	臨時損失	0
その他	81	資本支出	2,187
臨時利益	0	建設改良費	1,065
資本収入	813	償還金	1,122
長期借入金	813	資金収支	768
その他資本収入	0		
合計	21,171	合計	21,171

1 第3期中期目標期間の自己評価結果

(1) 自己評価の方法

- ① 中期計画の個別項目ごとに達成状況を5段階評価（5点、4点、3点、2点、1点）
 ※3点が標準（達成度90～100%未満）



- ② 中期計画の4つの大項目ごとに達成の状況を5段階評価（s、a、b、c、d）
 ※bが標準（評点①の単純平均値2.7以上3.4以下）
 （d/1.8以下、c/1.9～2.6、b/2.7～3.4、a/3.5～4.2、s/4.3以上）



- ③ 中期計画全体の達成の状況を5段階評価（S、A、B、C、D）
 ※Bが標準（評点②の加重平均値2.7以上3.4以下）
 （D/1.8以下、C/1.9～2.6、B/2.7～3.4、A/3.5～4.2、S/4.3以上）

(2) 自己評価の結果

◆全体的な状況

中期目標を「十分達成」（A評価）

◆評定概要

区分	評価項目数	評点別項目数					評点 平均値	評定
		5点	4点	3点	2点	1点		
業務の質の向上	43	7	22	14	0	0	3.8	a
業務運営の改善及び効率化	7	0	4	3	0	0	3.6	a
財政内容の改善	1	0	1	0	0	0	4.0	a
その他重要事項	2	2	0	0	0	0	5.0	s
全体	53	9	27	17	0	0	3.9	A

※全体欄の評点平均値は、加重平均したもの

2 第3期中期計画期間の主要な成果

(1) 業務の質の向上

① 医療の提供

ア 総合医療センター

- (ア) 県の基幹病院として、医療需要を踏まえ、高度急性期・急性期医療への対応強化のため、地域包括ケア病棟（回復期）から一般病棟（急性期）へ転換するとともに、地域の医療機関との連携を強化し、県民により質の高い医療を継続的に提供
- (イ) 機能強化に関する基本構想の策定について、県が専門的な意見等を集約し、当構想に反映することを目的に設置した「県立総合医療センター機能強化基本構想検討委員会」に参画するとともに、専門的な見地から基礎資料作成や検証等により支援を実施
- (ウ) 地域がん診療連携拠点病院の指定更新を受けるとともに、新たに買替えたリニアックを活用して、がん患者の病態・病状に応じた適切ながん治療を提供
- (エ) 患者の遺伝子検査及びその情報を基に治療法を検討するゲノム医療の体制を構築し、令和5年2月にがんゲノム医療連携病院に指定
- (オ) 助産院において、産後の母子に対し、地域ニーズに合わせた産後ケアを実施
- (カ) へき地医療機関の若手医師に対し、実際の患者の通常診療において5Gを活用して遠隔指導を行う、全国で初めての実証試験を実施
- (キ) 感染症指定医療機関として、他院では受け入れが困難な重症患者や妊婦等を含む多数の新型コロナウイルス感染症患者に適切な医療を提供
- (ク) 新型コロナウイルス感染症患者への適切な医療を提供するため、人工心肺装置（エクモ）などの高度医療機器の整備や感染症センターを改修
- (ケ) 新型コロナウイルス感染症の重症患者の受入人数を増やすため、一般病棟及びICUの改修工事を実施
- (コ) 新型コロナウイルス感染症患者に対して、県内初の中和抗体薬が投与可能な専門外来を開設
- (サ) 心臓疾患に対する専門的な医療体制を強化するため、心血管カテーテル治療室を整備
- (シ) かかりつけ医では対応できない重症透析患者に対応するため、血液浄化療法センターを整備
- (ス) 人工関節センターでは、全国でも極めて例が少ないロボット2台体制による手術を実施。人工関節（股・膝）置換術件数は中国・四国地方でトップクラス・人工関節（股・膝）置換術件数（中期計画400件→令和4年度実績787件）
- (セ) 院内で365日リハビリテーションを実施する他、後方支援病院と連携した連続的リハビリテーションを実施
- (ソ) その他
 - てんかん支援拠点病院の指定を受けるとともに、てんかん外科学会等を開催したことに加え、てんかんに対する高密度脳波計や、脳波ビデオ同時記録装置等による高度な治療を提供

イ 県立こころの医療センター

- (ア) 精神科救急医療や司法精神医療に積極的に取り組むとともに、地域社会や他の医療機関と連携し、質の高い医療を提供

- (イ) 認知症疾患医療センターにおいて保健医療機関・介護機関と連携を図り、相談・支援体制を充実
- (ウ) 他院では受け入れが困難な精神症状の重い新型コロナウイルス感染症患者に適切な医療を提供
- (エ) 災害拠点精神科病院の役割が担えるよう必要な機能及び災害派遣精神医療チーム（D P A T）の充実

ウ 地域医療への支援

- (ア) 患者支援連携センターにおいて、病病連携会議を開催するなど、地域の医療機関との連携体制を強化（総合C）
 - ・紹介率（中期計画 60%→令和4年度実績 76.6%）
 - ・逆紹介率（中期計画 80%→令和4年度実績 121.3%）

エ 医療従事者の確保、専門性の向上

- (ア) インターネットを活用して効果的な採用情報の発信に努めるとともに、採用試験の日程の見直し及び随時実施に加え、WEB面接の活用
- (イ) 修学資金返還支援給付金制度を創設し、当該給付金枠の採用試験を開始するとともに、山口県内の看護学校等に周知を行い、看護師確保対策を強化
- (ウ) 県内初となる薬学部を創設した山陽小野田市立山口東京理科大学と連携協定を締結し、薬剤師の育成・確保と地域医療の発展に寄与
- (エ) 看護師不足に対応するため、人材育成・採用担当の専任職員を配置し、専門的な知見を有するコンサルタントと職員が協同して、新人看護師の離職防止や教育指導を充実

オ 医療安全対策、患者サービスの向上

- (ア) 院内迅速対応システム（R R S）を活用し、患者の急激な病態悪化を予防
- (イ) 臨床工学技士の常置人数を増員し、安全管理の強化と看護師からのタスクシフトを推進
- (ウ) 新型コロナウイルスの院内感染防止のため、発熱外来の設置、面会の禁止、来院者の検温・問診等を実施、さらに、入院時の抗原検査又はP C R検査の実施に加え、入院後も一定期間は検査を実施し、陰性を確認
- (エ) がん等に罹患した患者の治療と仕事の両立に関する相談を実施するほか、離職している患者への就職支援を実施
- (オ) 病棟再編による各診療センターの専門性に合わせ、専門・認定看護師がそれぞれの専門分野に関連するチーム医療を実施（総合C）
 - 長期入院患者の地域移行の推進のため、多職種支チーム（地域生活支援MD T）による退院支援を実施（こころC）

カ 施設設備の整備

- ・新型コロナウイルス感染症患者への適切な医療に必要な医療機器、院内感染防止に必要な検査機器、がん患者の治療に必要なリニアックを整備（総合C）
- ・C T撮影装置の更新、院内感染防止に必要な検査機器の整備（こころC）

② 医療に関する調査及び研究

疫学調査や臨床試験、多施設共同研究等を積極的に受託（総合C）

③ 医療従事者等の研修

研修医の募集活動を実施し、初期臨床研修医、後期臨床研修医を積極的に受入

(2) 業務運営の改善等

① 内部統制の推進

内部監査規程に基づき両病院を対象に内部監査を実施するとともに、内部統制の推進に必要なリスク管理規程を整備

② 効率的・効果的な業務運営、経営改善

ア 経営管理体制の強化

専門的な知見を有するコンサルタントと職員が協同し、経営改善に取り組むなど経営基盤を強化（総合C）

イ 組織・人員配置の弾力的運用

医療ニーズや業務環境を踏まえ適切な人員配置を実施

ウ 2病院の連携

医薬品の共同調達については、山口大学医学部附属病院を加えた3病院による調達を行うことで、効率的な業務運営を実施

③ 収益の確保、費用の節減・適正化

ア 収益の確保

効率的なベッドコントロールにより、コロナ関連病床以外の一般病床は例年以上の病床利用率を達成（総合C）

外部委託により平成28年度から約20,692千円の未収金を回収（総合C）

イ 費用の節減

全国の医療機関のデータに基づくベンチマークによる価格交渉などにより、適正な価格での契約・購入を実施

・材料費対医業収益比率（中期計画29%以下→令和4年度実績30.9%）
（総合C）

・材料費対医業収益比率（中期計画6%以下→令和4年度実績6.2%）
（こころC）

(3) 財務内容の改善

① 収支計画の達成

ア ・計画の確実な実行を進めた結果、4年連続して黒字

・経常収益（営業収益及び営業外収益）÷経常費用（営業費用及び営業外費用）の割合

R1：101.1% R2：103.9% R3：103.4% R4：100.6%

区分	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績
総合C	280,665	862,720	897,004	284,050
こころC	22,865	14,111	△53,369	△45,166
機構本部	△107,004	△120,630	△168,710	△121,020
法人全体	196,526	756,201	674,926	117,864

② 剰余金の使途

・第三期中期目標期間の利益剰余金（1,583百万円）は、次期中期目標期間における、病院施設の整備、医療機器の購入、病院建替えに向けた機能強化に必要な人材確保及び人材育成等に充てる。

(4) その他重要事項

① 人事に関する事項

- ア 職種別人材の需給状況や医療機関の採用状況などの情報収集に努め、採用試験のあり方について検証を行った上で、採用試験の追加試験に加え、随時試験の実施及びWEB面接の採用等適切な採用試験の実施
- イ 人事・給与制度の適正な運用を図るため、職員の要望を踏まえ、業務の精神的・身体的負担や危険性等を鑑み、新型コロナウイルス感染症対応特別一時金を支給
- ウ 看護職員やコ・メディカルを対象とした看護職員等処遇改善手当を新設
- エ 看護師等修学資金等を返還中又は返還予定の看護師や看護学生を対象とする修学資金返還支援給付金枠の採用試験を新たに実施

② 就労環境に関する事項

- ア 職員満足度アンケート調査や職員ヒアリングの結果をもとに、夜間勤務帯の人員確保等、勤務環境の改善を促進

3 対処すべき課題

(1) 県立病院として対応すべき医療の充実（県立総合医療センター）

総合医療センターの機能強化については、がんや心筋梗塞などの循環器病等に対する高度急性期医療の強化、生殖医療や遺伝子医療をはじめとする最先端医療への取組、災害医療・感染症医療などの政策的医療への対応、へき地医療・小児医療などの地域医療への貢献という大きく4つの視点に基づいて図っていく。

具体的には、全県レベルの基幹病院としての役割を担うために、がんなどの高度専門医療における最先端の低侵襲治療や、がんゲノム医療等の充実、今後とも起こり得る新たな感染症に備え、重症患者等への集中治療に対するHCU病床を拡充するなど、診療機能の強化を図る必要がある。

さらに、センターが将来にわたって、本県の感染症医療、高度専門医療等の拠点として中核的役割を一層果たしていけるよう、近隣に全面的に建て替えることを基本に、地域にも配慮しながら、県をはじめとする関係機関とも連携を強化し、機能強化の着実な実現に取り組む必要がある。

(2) 県立病院として対応すべき医療の充実（県立こころの医療センター）

精神科救急医療の基幹病院としての役割を積極的に担うとともに、児童・思春期、認知症等の専門診療体制の機能強化に向けて、多職種チーム医療の一層の充実を図っていく。

また、災害拠点精神科病院として機能充実に努めるとともに、災害派遣精神医療チーム（DPAT）のさらなる充実を図る必要がある。

(3) 医療従事者の確保

機能強化の効果的な実現に向けては、施設整備のみだけでなく、これらを有効活用できる人材確保及び育成が極めて重要である。高度専門医療を担う医師、看護師や薬剤師、臨床工学技士等を確保・育成するために目的積立金を活用し、医師へのインセンティブ制度の活用、寄附講座の創設、看護師の勤務環境改善、県内大学と連携した研修環境等の整備をしていく必要がある。

また、長時間労働を是正し、働き方改革を推進していくために、多様な勤務形態の導入、タスクシフト/シェアの推進、ICTの活用など、業務負担の軽減に向けた取組等を推進する必要がある。

目的積立金の実績等について

1 目的積立金の実績について(R4 年度)

(1) 医療従事者等確保積立金

現医療従事者の処遇向上による離職等の防止及び建替え後の機能強化等を見据えた医師・看護師・薬剤師の確保等が目的

① 現医療従事者等の処遇向上

○ 医師インセンティブ制度の創設

医師等のモチベーション向上と地域医療貢献のため、評価項目を設定し、貢献度の高い職員を表彰

・R4 実績 総合医療センター:10 人、こころの医療センター:10 人

○ 夜間看護業務従事者子育て応援給付金制度の創設

夜間保育利用料等の負担軽減にむけた夜勤協力手当の支給により、夜勤従事者を確保

・R4 実績 総合医療センター : 支給人数 254 人 支給回数 1,644 回
こころの医療センター : 支給人数 120 人 支給回数 891 回

② 医師の確保

○ その他の医師確保（てんかん支援拠点病院の指定取得経費等）

令和 4 年 7 月に県内 1 医療機関のみに指定されるてんかん支援拠点病院の指定を受けるとともに、第 46 回日本てんかん外科学会や県民公開講座を開催

③ 看護師の確保

○ 修学資金返還支援給付金制度の創設・当該給付金枠の採用試験実施

・職員採用試験受験者数の増 (R4 : 53 人/R5 : 69 人 ※7 月時点)

④ 薬剤師の確保

○ 地域医療振興対策経費の寄附

令和 4 年 10 月に山陽小野田市立山口東京理科大学と連携協定を締結し、連携研修を実施するなど、薬剤師の育成・確保と地域医療の発展に寄与

・職員採用試験受験者数の増 (R4 : 5 人/R5 : 11 人)

(2) 施設・設備整備等積立金

建替えまでの間の必須医療機器等の整備及びその設置又は躯体修繕工事、システムの構築・運用管理等に充てることが目的

① 機器等整備費

○ 医師の働き方改革システム（勤怠管理システム等）の導入

出退勤時間、時間外・休日労働時間などの勤務実態を客観的かつ正確に把握する仕組みを構築し、試行運用を開始するなど、働き方改革の実現に向けた取組を実施

② 設置等工事費

○ 院内保育施設の改修

院内保育施設の改修工事（電気設備、浴室設備、病児保育室等）を実施し、保育体制を強化

2 令和5年度以降の活用方針について

昨年度より実施している医療従事者等の処遇向上や医師・看護師・薬剤師の確保においては、引き続き大学等との関係機関と連携を強化し、人材確保に向けた活用を行っていくとともに、臨床工学技士の確保に向けた、資格取得や研修費用の負担等を新たに実施する。

また、施設設備等の整備においては、手術支援ロボットなど、医療機器等の整備やDXに対応するためのシステム改修、院内保育所の備品整備などに活用する。

(参考) 令和5年度の主な目的積立金活用事業

積立金種別	事業内容
医療従事者等確保積立金	医師インセンティブ制度の拡充
	看護師修学資金採用枠（年数・県大枠）の拡充
	プレ臨地実習受入れ（看護師・薬剤師）
	能力向上研修の実施（看護師・薬剤師・臨床工学技士）
施設・設備整備等積立金	病院留学研修の実施（看護師・薬剤師・臨床工学技士）
	手術支援ロボット整備
	脳外科用血管撮影装置整備
	診療報酬改定DX対応に伴うシステム改修

令和4年度事業年度評価（判断の目安）

〈個別項目別評価〉

評価基準	数値目標に関する項目	取組目標に関する項目 (左欄の項目以外の項目)
5 年度計画を十二分に達成	達成度 120%以上	取組の結果、所期の目的を上回る優れた成果等を得たとき
4 年度計画を十分達成	達成度 100～120%未満	取組の結果、所期の目的を上回る成果等を得たとき
3 年度計画を概ね達成 【標準】	達成度 90～100%未満	取組の結果、所期の成果等を得たとき
2 年度計画はやや未達成	達成度 70～90%未満	取り組んではいるが、所期の成果等を得られなかったとき
1 年度計画は未達成	達成度 70%未満	取組が行われていないとき

〈大項目別評価〉

評価基準	大項目内の個別項目別評価の評点平均値 (小数点以下第2位四捨五入)
s 中期計画の進捗は優れて順調	4.3以上
a 中期計画の進捗は順調	3.5 ～ 4.2
b 中期計画の進捗は概ね順調 【標準】	2.7 ～ 3.4
c 中期計画の進捗はやや遅れている	1.9 ～ 2.6
d 中期計画の進捗は遅れている	1.8以下

〈全体評価〉

評価基準	大項目内の個別項目別評価の評点平均値をそれぞれ各大項目のウエイトで乗じて得た数値の合計値 (小数点以下第2位四捨五入)
S 中期計画の進捗は優れて順調	4.3以上
A 中期計画の進捗は順調	3.5 ～ 4.2
B 中期計画の進捗は概ね順調 【標準】	2.7 ～ 3.4
C 中期計画の進捗はやや遅れている	1.9 ～ 2.6
D 中期計画の進捗は遅れている	1.8以下

第3期中期目標期間評価（判断の目安）

〈個別項目別評価〉

評価基準	数値目標に関する項目	取組目標に関する項目 (左欄の項目以外の項目)
5 中期計画を十二分に達成	達成度 120%以上	取組の結果、所期の目的を上回る優れた成果等を得たとき
4 中期計画を十分達成	達成度 100～120%未満	取組の結果、所期の目的を上回る成果等を得たとき
3 中期計画を概ね達成 【標準】	達成度 90～100%未満	取組の結果、所期の成果等を得たとき
2 中期計画はやや未達成	達成度 70～90%未満	取り組んではいるが、所期の成果等を得られなかったとき
1 中期計画は未達成	達成度 70%未満	取組が行われていないとき

〈大項目別評価〉

評価基準	大項目内の個別項目別評価の評点平均値 (小数点以下第2位四捨五入)
s 中期目標を十二分に達成	4.3以上
a 中期目標を十分達成	3.5 ～ 4.2
b 中期目標を概ね順調 【標準】	2.7 ～ 3.4
c 中期目標はやや未達成	1.9 ～ 2.6
d 中期目標は未達成	1.8以下

〈全体評価〉

評価基準	大項目内の個別項目別評価の評点平均値をそれぞれ各大項目のウエイトで乗じて得た数値の合計値 (小数点以下第2位四捨五入)
S 中期目標を十二分に達成	4.3以上
A 中期目標を十分達成	3.5 ～ 4.2
B 中期目標を概ね達成 【標準】	2.7 ～ 3.4
C 中期目標はやや未達成	1.9 ～ 2.6
D 中期目標は未達成	1.8以下